

天童市議会だより

2021
8.1
No.173
TENDO



6月定例会

▲あらやっ子児童クラブの「ままと」は全て手作り。折り紙のうさぎやさまざまな材料を使って「うさぎの街」を1から作り上げています。

- 2 一般質問 9人
- 8 予算特別委員会 令和3年度補正予算
- 9 提出された議案とその結果
- 12 特集1 議会報告・意見交換会
- 14 特集2 議員定数・議員報酬意見交換会
- 16 市民の声、9月定例会の日程（予定）



インターネットで
議会中継

天童市議会 で 検索

www.city.tendo.yamagata.jp



市政に対する一般質問



市政に対する一般質問は、6月3日・4日の2日間の日程で、9人の議員が行いました。

遅霜による農作物被害の実態や支援について、また新型コロナウイルスワクチンの課題と今後の対応について市長や教育長等の見解を求めました。

※ 議員の原稿をそのまま掲載しています。

質問者と質問事項 (☆印は会派名)

★日本共産党天童市議団

石垣昭一 議員

* 遅霜による農作物被害対策について

* 寺津児童館の今後のあり方について

伊藤和子 議員

* 山形県の「さんさん」プランの効果は

* 天童市の学級編制の現状と改善に向けた取り組みは

* 教員の働き方改革の進捗状況は

★清新会

武田正二 議員

* 新型コロナウイルススワクチン接種について

* 第三次天童市環境基本計画について

古澤義弘 議員

* 買い物弱者への支援について

* 交差点の安全確保について

佐藤孝一 議員

* 本市の財政について

* ICTの活用に向けて

* マイナンバーカードの活用について

* 人口減少社会を迎えた本市の都市整備について

★てんどう創生の会

笹原隆義 議員

* 新型コロナウイルススワクチン接種について

* 市の子育て支援について

三宅和広 議員

* ドローンなどの最新の消防資機材の導入について

* GIGAスクール構想により貸与されたタブレットの家庭学習での利活用について

★無会派

野口さつき 議員

* 「生理的貧困」への対応について

* 多様性への対応について

6 月 定 例 会

令和3年度第2回市議会定例会(6月定例会)は、5月31日から6月11日までの12日間の会期で開かれました。

初日の本会議で、市長提出の報告案件9件と人事案件1件について同意しました。そのほか、令和3年度一般会計補正予算や一般議案1件が上程され、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、右記日程で審査を行い、最終日の本会議で採決が行われました。

また、定例会最終日には、委員会提出議案1件が上程され採決が行われました。(採決結果は9ページに掲載してあります。)

審 査 日 程

月 日	内 容
5/31(月)	本会議 (会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会の設置など)
6/3(木) 6/4(金)	本会議 (市政に対する一般質問)
6/7(月)	総務教育常任委員会 (付託案件の審査)
6/8(火)	経済建設常任委員会 (付託案件の審査)
6/9(水)	予算特別委員会 (付託案件の審査、討論、表決)
6/11(金)	本会議 (委員長報告、質疑、討論、表決など)



遅霜による
農作物被害への支援を

石垣 昭一 議員

4月の凍霜害による農作物の被害は甚大で、特に紅秀峰は収穫皆無の園地もある。今後の技術的支援とともに早期に無利子の融資、消毒や肥料などの農業資材にかかる費用への補助を行うなど、すでに支出した経費を補填する施策が必要と

思うが考えを伺いたい。
山本市長 今後の収量を確保するため、市農協や農業技術普及課と連携しながら、作物の管理や防除の徹底について広報するとともに、随時、農家への情報提供を行うなどの指導に当たっていききたい。

また、遅霜被害の収量減予想により、これからの農業経営に影響が及ぶことも懸念されることから、今後の生育状況や収穫量、さらには価格の動向にも十分目を配りながら、どのような支援が必要となるか、県の緊急対策パッケージが示されたので、県や農業関係機関とも協議しながら対応を進めていききたい。

寺津児童館の
今後のあり方は

「第2期天童市子ども子育て支援事業計画」では

児童館について、認定こども園への移行を進めるとしている。寺津児童館についても早期の移行を求めるものだが、考えを伺いたい。
山本市長 認定こども園は児童館と異なり、0歳児から2歳児の保育も可能となるため、対象年齢が拡大される

れる。施設を効率的に運営していくためには、年齢ごと一定の児童数の確保が必要となる。
認定こども園の運営主体については、民間の事業者を予定しているため、安定した事業経営が見込める計画が必要となる。
寺津児童館については、さまざまな課題がある中で、市全体の保育需要や他の公立施設のあり方とともに慎重に検討していく。



教育山形「さんさん」
プランの効果は

伊藤 和子 議員

山形県の「さんさん」プランが導入されて20年経つが、天童市教育委員会として、その効果をどう評価しているか。

プランについては児童・生徒からは「先生が身近に感じられ、アドバイスをもらい、学習が楽しくなった」。教員からは「子ども一人ひとりのつまづきを分析し、支援できる」「学級事務等の物理的な軽減に少人数のよさが表れている」などの

報告がある。市内で33人を超えるのは二つの小学校で4クラスある。非常勤講師を配置し、きめ細かな指導をし、教室が狭い場合は多目的ホールなどを使用して対応している。今後、教室は計画的に確保するよう努めていく。

教員の働き方改革は
改善されているか

教員の働き方改革は3年目になっているが、地域活

動に教員の姿が見られない。教員がいきいきと活動することが、子どもの教育に活かされると思うが、今年度の計画は。
相澤教育長 働き方改革の基本方針では、時間外在校等時間を月45時間、年360時間を上限としている。令和2年度下期の調査で、時間外在校等時間の平均が小・中学校とも45時間を下回ったが、年間360時間を超えた教員が半数以上に

上り、勤務状況は改善しつつも上限を超えている状況にある。教員の意識啓発や事務作業の効率化を図るとともに、人的配置による支援の充実を国や県に要望していく。





新型コロナウイルス ワクチン接種について

武田 正二 議員

ワクチン接種の予約は5月6日から75歳以上の高齢者を対象にコールセンターで始まったが、電話が通じない状況が続いたほか、LINE、インターネットの一部でアクセスできない状況になった。

課題と今後の対応について伺いたい。

山本市長 予約開始当初は、ワクチンの供給量が見通せない状況にあり、予約可能件数が少なくコールセンターの電話がつながりにくい状況が続いたほか、LINE、インターネットの

一部でアクセスできない状況があり、市民の皆さまに大変ご迷惑をおかけした。今後のワクチン接種については、64歳以下の方で基礎疾患を有する方を優先して受け付ける準備をしている。予約体制の反省を踏まえ、年齢階層ごとに申請期間を設け、市の施設で受付、接種券を渡す予定である。



モンテディオ山形と連携した集団接種を

今後、現段階の個別接種と2会場での集団接種だけでは、消化できないのではないかと懸念している。

大規模接種会場の一つとして、NDソフトスタジアム等での接種体制を、近隣自治体と連携できないものか、市長の考えを伺いたい。

山本市長 大規模な接種会場については、国や県の主



▲集団接種会場の一つ（健康センター）



買い物弱者への支援について

古澤 義弘 議員

高齢化、核家族化、周辺地域の小売業の廃業など、さまざまな事由により食品等を購入できず苦労や不便を感じている高齢者が増えてきている。移動スーパー事業の活用を含めた買い物弱者支援について、市の考えを伺う。

また、移動スーパー事業を新規に始める個人事業主への助成についての考えを伺う。

山本市長 市内における移動販売の状況は、地域は限られてくるものの、民間事業者による取組みが既に行われており、地元根差し

経営を続けている商店においても、移動販売車による週1回程度のサービスが行われている。また、本市の高齢者軽度生活援助事業において、低料金で使える買い物代行サービスを実施している。こうしたさまざまな形態により、高齢者等の買い物の困難な方への支援の取組みが行われている。今後とも高齢者等が住み慣れた地域で、安心して暮らしていただけるよう、地域の

ニーズを見極めながら、買い物支援を含めた、必要な生活支援をしていくことが重要である。

また、実際に移動スーパー事業を創業する際に活用できる本市独自の助成金等はないが、県が行っているやまがたチャレンジ創業応援事業助成金や県・市町村連携加速事業費補助金などの活用が考えられるので相談をしていただきたい。

横断指導線の路面標示について市の考えを伺う

南小畑地内に安全対策として白線での横断指導線が設置されたが、見えづらいため、白線の色を変えては。

森谷建設部長 横断指導線は、歩行者の車道の横断を指導する必要がある場所に設置すると定義されており、区画線の様式等については白と定められている。



本市の財政の財源確保の取組みについて

佐藤 孝一 議員

本市の財源として主なもの、市税・地方交付税・国庫支出金・県支出金・寄附金となっている。

今後どのような方で財源を確保していくのか。

山本市長 新型コロナウイルス

ルス感染症の影響により市税収入の減収が見込まれ、

今年度当初予算の市税収入は8・2割、6億8362

万円の減とした。国は今年

度地方財政対策において、

地方交付税及び臨時財政対

策債の増額をすることとし、これを受け本市では、

それらを前年度より増額し予算編成している。財源の



人口減少社会を迎えた本市の都市整備について

鈴木 照一 議員

本市人口の減少傾向を抑制するため、新たな市街地を整備すると同じく、市街化調整区域内の集落人口の減少に対する施策を講じることが肝要だ。今後は国の制度を積極的に活用し、民間事業者との連携を強化し、官民協働による空き

家・空き地対策を推進し、低未利用土地等の有効活用に取り組みことも肝要だ。

本市の取組みについて伺う。

山本市長 人口減少対策の

一つとして、整備から長年

が経過した市街地のリニューアルが必要であるため、現在、立地適正化計画

確保のため、市税の適正な賦課と徴収に取り組み、国・県補助金については、情報をいち早く収集し、本市の施策の推進に努める。

また、ふるさと納税は本市の重要な財源であり、全国の天童ファンとのつながりを大事にしなが、一層の寄附額の増加に努める。

ICTを活用するための取組みについて

デジタル庁が9月より新

設される。デジタル化を加速する環境が整いデジタルの恩恵を受けることができると思われる。本市でのICTを活用するためのインフラの整備計画と現状、

並びにICTを有効活用するためのエキスパート人材の確保が必要と考えるが、

取組みを伺う。

山本市長 本市では天童市

情報化計画に基づきインフラ整備や情報システムの導入を行っている。今年度は

入を行っている。今年度は

入を行っている。今年度は

の策定を進めている。市街化調整区域の人口・コミュニティ維持の対策は、山形県住宅供給公社との連携による住宅団地整備や、開発許可の規制緩和による民間開発などを活用していく。

空き家や空き地対策は、空き家の除却支援のほか、民間と連携した空き家相談や、空き家バンクなどの利活用の促進に努めていく。

マイナンバーカードの利活用について

マイナンバーカードの

Cチップの空き領域を活用したサービスは、自治体のアイデア次第で多様な住民サービスが提供できる。ふるさと納税と同様に、自治体の創意工夫が、市民サービスへつながり、住民、事業者、自治体の三者に利するものと期待が膨らむ。本市の取組みについて伺う。

今後のサービスについては、既に実施している全国の自治体の取組みを注視し、

本市独自のサービスの向上やマイナンバーカードの普及につながる取組みを、積極的に取り入れていく。

山本市長 現在のマイナンバーカードによる本市のサービスについては、各種証明書のコンビニ交付のほか、電子申請の一部で公的個人認証として活用している。

山本市長 現在のマイナンバーカードによる本市のサービスについては、各種証明書のコンビニ交付のほか、電子申請の一部で公的個人認証として活用している。



**ワフチンを接種するまで
市民の不安を減らす広報を**

菅原隆義 議員

高齢者のワフチン接種状況と今後の対策は。

LINE・インターネット経由の予約がほとんどで、不慣れな高齢者にとって公平性に欠けていたと思うがどうか。具体的にどの経由でワフチン予約できたのか伺いたい。

本来やるべきことはコロナの不安を減らす広報だが、市民の理解まで至っていない。反省材料にしてほしい。

山本市長 7月末までに高齢者への接種を完了する予定。今後、更なる個別接種・集団接種の充実、拡大を医

師会と連携して推進する。
新関副市長 事務方の責任者として初期の混乱をお詫び申し上げる。

インターネット等を使えない方のために、すぐに市立公民館で予約代行受付を行い対応した。今後ワフチン接種は重要課題として全庁をあげて対応する。

今田健康推進監 5月6日は電話予約が45件、LINE・インターネット予約が1910件、5月9日は電

コロナ禍でも安心・安全な保育環境整備を

話予約が10件、LINE・インターネット予約が1650件である。

コロナ禍が長引く中、雇用環境の変化や感染リスクで保育需要に変化はあったのか。山形市、寒河江市では、病児・病後児保育をスマホで簡単に予約できるシステムになっているが、本市にも導入できないのか。

山本市長 市内施設の徹底したコロナ対策と保護者の理解で、本市の入所控えはないと認識している。今後もコロナ対策を徹底して、より良い保育環境づくりに努める。

五十嵐健康福祉部長 市内4カ所で病児・病後児保育を行っているが、施設側でこのシステムの対応が可能なか確認して、今後の利便性向上のために検討していく。



火災現場でのドローンの活用を進めては

三宅和広 議員

火災現場での確認作業や、水害や土砂災害の発生が予見される状況下での状況確認にドローンを使えば、安全にスピーディに行えるのではないかと。今後、ドローンを導入し活用していく必要があると考えるが、市の考えを伺いたい。

山本市長 鎮火後の火災原因調査に小型ドローンの活用を考えている。上空から焼損範囲や燃焼状況を確認し、出火元などを判断する考えである。また、自然災害による危険箇所や被害状況の確認などの情報収集での活用も考えている。

タブレットの家庭学習での活用を

国のGIGAスクール構

想により児童生徒一人一人にタブレットが貸与された。タブレット導入の効果をも高めるためにも、家庭学習での利活用を進める必要があると考えるが、市の考えを伺いたい。

うか。それにより、家庭でも授業の調べ物などができるようになる。市の考えを伺いたい。

については、他市町村の事例を参考にしながら、オンラインを活用した家庭学習について調査研究していきたい。



また、WiFi環境が整っていない家庭にモバイルルーターを貸与してはど

モバイルルーターの貸与

議会のうごき (4月1日～7月19日)

- 4月
- 5日 広報委員会
- 9日 市長要請全員協議会
議会運営委員会
- 12日 議員定数・議員報酬検討特別委員会
- 13日 広報委員会
- 15日 議会運営委員会
第1回市議会臨時会
- 23日 全員協議会(議会報告・意見交換会について)
市長要請各派代表者会
広報委員会
- 28日 議員定数・議員報酬検討特別委員会
- 5月
- 11日 広報委員会
- 13日 市長要請各派代表者会
- 14日 市長要請経済建設常任委員会(立地適正化計画の骨子について)
- 17日 市長要請各派代表者会
- 18日 議会報告・意見交換会(天童中部・天童南部・干布・津山)
- 19日 議会報告・意見交換会(蔵増・寺津・山口・長岡)
- 20日 市長要請全員協議会
議会報告・意見交換会(成生・高掬・天童北部・荒谷)
- 24日 議会運営委員会
- 26日 議員定数・議員報酬検討特別委員会
市長要請総務教育常任委員会(天童市公民館整備費補助金交付規程の一部改正について)
- 31日～6月11日 第2回市議会定例会
31日 広報委員会
- 6月
- 4日 議員定数・議員報酬検討特別委員会
- 7日 総務教育常任委員会所管事務調査(救急出動要請時の対応について、市内小中学校におけるタブレット端末の運用状況について)
環境福祉常任委員会所管事務調査(新型コロナウイルスワクチン接種状況等について)
- 9日 総務教育常任委員会所管事務調査(霜被害によるふるさと納税返礼品への影響と対応について)
新型コロナ支援本部役員会
- 10日 議会運営委員会
- 11日 広報委員会
- 14日 議員定数・議員報酬についての商工会議所青年部との意見交換会
- 16日 議員定数・議員報酬についての青年会議所との意見交換会
- 21日 市長要請全員協議会
市長要請環境福祉常任委員会(国民健康保険における傷病手当金について)
- 22日 広報委員会
- 23日 議会運営委員会
第3回市議会臨時会
- 28日 市長要請環境福祉常任委員会(オリンピック観戦ツアーの中止について、ホストタウン交流事業の現状について)
- 7月
- 2日 広報委員会
- 6日 議員定数・議員報酬検討特別委員会
- 8日 市長要請環境福祉常任委員会(新型コロナウイルスワクチン接種状況についてほか)
- 9日 総務教育常任委員会所管事務調査(市内小中学校視察)
- 12日 広報委員会
- 14日 市長要請経済建設常任委員会(令和3年度さくらんぼ出荷量について)
- 16日 議員定数・議員報酬検討特別委員会
- 19日 東根市外二市一町共立衛生処理組合全員協議会・定例会



「生理の貧困」への対応について

野のさつき 議員

コロナ禍で、生理の貧困

が顕在化している。経済的理由で生理用品の用意が難しい方へ無償提供が必要であると考えますが市の考えは。さらに、市内小中学校での生理用品の無償提供や防災備蓄品に生理用品を加える必要があると考えますが

市の考えを伺う。

山本市長 経済的理由で生理用品の用意が難しい方への無償提供は今のところ考えていないが、相談状況等を注視していく。市社会福祉協議会が行っているフリードライブ事業のチラシの生活用品欄に生理用品を追加する。

加して対応していただく。また、市内小中学校では、生徒が生理用品を持参できなかった場合などに備えて、保健室に生理用品を常備し提供している。経済的理由で生理用品の用意が困難な生徒がいた場合は、適切なサポートに努める。

現在、生理用品は災害初動時に必要な備蓄品に位置づけられておらず、備蓄していない。事業者等との災害協定の調達物資に位置づけられない。

れていることから、速やかに調達できるよう、連絡調整を行う。

多様性への対応について

近年、ジェンダー平等実現と、LGBT(性的少数者)への配慮を含め、学生服の男女差を極力解消する取組みが広がっている。本市でも、性別や理由に関係なく、スラックス、スカートを自由に選べる制度を導入する。

入しては。

相澤教育長 制服については多様性への対応の観点から、これまで校長会や生徒指導専事連絡会等で議題にしてきた。昨年4月から、市内でも女子生徒がスラックスを選べる学校が出ており、他校でも検討している。今後とも生徒の多様性が一層尊重されるよう検討を重ねるとともに生徒への適切な理解に基づいた支援に努めていく。

9016万2000円を可決

自立相談支援事業委託料など

令和3年度予算について、予算特別委員会に付託・審査後、本会議において原案のとおり可決しました。

審査の主なものは次のとおりです。

コロナ対策消耗品の増強

委員 学校の管理に要する経費（小学校160万3000円、中学校96万2000円）の具体的内容は、**教育次長** 小学校、中学校に、CO2モニターを配備する。また、水道の蛇口全体の28割はレバー式やプッシュ式等になっており、残り72割の蛇口をレバー式蛇口に交換する。

デジタル関連備品の追加で教育の充実に

委員 教育振興に関する経費（小学校1039万7000円、中学校423万8000円）の詳細は、**教育次長** 小学校では、タッチペン2学年分、充電器、アップルTVを整備する。中学校では、タッチペン1クラス分、充電器、アップルTV、デジタルテレビを整備する。



▲建築から63年が経過する高野辺公民館

高野辺公民館の改修

委員 公民館の改修助成に要する経費2132万円の詳細は、**生涯学習課長**

高野辺公民館の建設費は、総額2900万円強で、建物、外構工事、備品購入に市からの662万円の補助、コミュニティ助成として1470万円が補助される。残りが地域で負担となる。なお、高野辺地区は洪水ハザードマップでも浸水の危険性があり、対策として盛り土11を行つ。

生活困窮者の相談体制を強化

委員 生活困窮者自立支援事業に要する経費297万7000円の内容は、**社会福祉課長**

現在、社会福祉協議会に業務委託し、7人4班集体で相談を受けている。コロナの影響により相談が増えており、臨時職員を7月から1名増員するための経費233万4000円、外国人の相談にも対応できる翻訳機能付きタブレット購入費2台分5万円、福祉センターの2、3階でもタブレットを使用できるようにWi-Fi環境の整備に係る費用15万円などである。

他に、相談の際のコロナ感染予防衛生用品購入費として10万122円を計上している。

12月からの大雪被害施設への補助は

委員 強い農業・担い手づくり総合支援事業費補助金

2236万5000円の内訳は。また、施設の耐用年数は。

農林課長 事業内容は農業用施設復旧事業・果樹棚復旧事業等で、対象施設は農機具格納庫、育苗ハウス、野菜ハウス、さくらんぼ雨よけハウス、ぶどう・西洋なしの果樹棚である。補助率は5割で国が10分の3、県が6分の1、市が12分の1となっており、今回限りの補助制度である。また、施設の耐用年数については、ハウスが12年、果樹棚が17年であるが耐用年数を超えても補助対象とする。



▲雪の重さで倒壊したハウス

提出された議案とその結果

令和3年度第1回市議会臨時会、第2回定例会及び第3回臨時会に提出された議案とその結果は次のとおりです。

第1回臨時会(4月15日)〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第1号	令和2年度天童市一般会計補正予算(第16号)の専決処分の承認を求めることについて	承認 (全会一致)
報第2号	天童市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認 (全会一致)
議第1号	令和3年度天童市一般会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第2号	天童市市税条例等の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第3号	天童市介護保険条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)

第2回定例会(5月31日～6月11日)〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第3号	物損事故に係る損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	報告
報第4号	令和2年度天童市一般会計予算繰越明許費の報告について	報告
報第5号	令和2年度天童市工業団地整備事業特別会計予算繰越明許費の報告について	報告
報第6号	令和2年度天童市水道事業会計予算繰越しの報告について	報告
報第7号	令和2年度天童市公共下水道事業会計予算繰越しの報告について	報告
報第8号	天童市土地開発公社の経営状況並びに事業計画の報告について	報告

議案番号	件名	結果
報第9号	公益財団法人天童市文化・スポーツ振興事業団の経営状況並びに事業計画の報告について	報告
報第10号	株式会社スポーツクラブ天童の経営状況並びに事業計画の報告について	報告
報第11号	令和2年度天童市情報公開条例の運用状況の報告について	報告
議第4号	令和3年度天童市一般会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第5号	天童市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意 (全会一致)
議第6号	高規格救急自動車の取得について	原案可決 (全会一致)

〈委員会提出議案〉

議案番号	件名	結果
委員会提出議案第1号	安全・安心で、ゆきとどいた教育実現のために早急に30人学級実現を求める意見書の提出について	否決 (賛成少数)

第3回臨時会(6月23日)〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
議第7号	令和3年度天童市一般会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)

議案等に対する議員の賛否一覧表

(賛否が分かれたもの。これ以外は全会一致)

議案	議席番号																					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
氏名	佐藤孝一	五十嵐浩之	野口さつき	古澤義弘	熊澤光史	笹原隆義	三宅和広	遠藤喜昭	佐藤俊弥	渡辺博司	武田正二	水戸芳美	遠藤敬知	村山俊雄	狩野佳和	松田光也	山口桂子	石垣昭一	鈴木照一	水戸保	伊藤和子	山崎諭
会派	清	市	無	清	て	て	て	て	清	て	清	清	清	清	市	無	清	共	清	清	共	無
請第1号 陳 [安全・安心で、ゆきとどいた教育実現につながる30人学級]の実現を求める意見書提出についての請願	×	○	×	×	○	×	○	○	×	○	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	○	議
請第2号 陳 新型コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	議
請第3号 陳 最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	議
委員会提出議案第1号 安全・安心で、ゆきとどいた教育実現のために早急に30人学級実現を求める意見書の提出について	×	○	×	×	○	×	○	○	×	○	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	○	議

※ ○=賛成、×=反対、議=議長(議長は採決に加わらない。)

※ 会派：清=清新会、て=てんどう創生の会、共=日本共産党天童市議団、市=市民と歩む会 無=無会派

所管事務調査を 実施

4月の降霜の影響により被害を受けたさくらんぼ等のふるさと納税返礼品についての現状と今後の対応等について、所管事務調査を行いました。

事業者から返礼品であるさくらんぼの確保が難しいとの報告を受け、市では、ラ・フランス、ぶどう、肉等の代替案の提示、代替案が難しい場合には寄附金の返還等の対応を行っていくとの話がありました。

委員からは、返礼品の品質保持についてどのように考えているのか。寄附者の反応はどうかとの質疑がありました。市では、さくらんぼの目揃え会を実施するなど品質の統一を図り、今後とも事業者との連携を密にしながら対応していくとの説明がありました。

請願・陳情の結果

今定例会で審査された請願・陳情は3件で、所管常任委員会で審査した後、本会議で採決が行われました。結果は次のようになりました。

件名	提出者	付託委員会	結果
「安全・安心で、ゆきとどいた教育実現につながる30人学級」の実現を求める意見書提出についての請願	少人数学級をすすめる県民の会 世話人代表 高木紘一 伊沢良治 佐藤匡子	総務教育	不採択 (賛成少数)
新型コロナウイルス禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める請願	天童市農民組合 組合長 太田正良	経済建設	不採択 (賛成少数)
最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出を求める請願	山形県労働組合総連合 議長 勝見忍 山形地域労働組合総連合 議長 東海林良二	経済建設	不採択 (賛成少数)

教えてケロっす



Q 請願ってなあに？

A 市議会へ請願書を提出する制度は、市民の皆さんの意見や要望を市政に反映させる方法として、法律上認められた権利の一つです。請願書には必ず1人以上の紹介議員が必要です。

永年勤続表彰

全国市議会議長会から永年勤続として表彰され、6月定例会最終日に伝達が行われました。

◇議員25年以上

水戸 保 議員 (平成7年10月1日～)

ご利用ください メール配信サービス

天童市では、議会の開催情報や、災害、観光・イベント、健康・子育てなどの情報を、電子メールでお知らせするメール配信サービスを行っています。ぜひご登録ください。

※登録は無料です。ただし、メールの受信などにかかる通信料・パケット通信費は登録された方の負担となります。

かんたん登録

すべてのメニューを受信する登録方法です。

tndml@city.tendo.yamagata.jp

または、右の二次元コードに空メールを送信してください。



固定資産評価審査委員会 委員の選任に同意

現固定資産評価審査委員会委員の武田淳氏(荒谷)が、令和3年6月30日をもって任期満了になることに伴い、再び同氏を選任することに同意しました。

財産区管理委員会委員を選出

欠員補充に伴い、高掬地区財産区管理委員会委員に篠原広悦氏、大字高掬有財産区管理委員会委員に佐藤善博氏を選出しました。



▲ALTと英語で会話する様子をタブレットで撮影

7月9日、第一中学校及び千布小学校を視察し、タブレット端末の活用状況を調査しました。

第一中学校

授業で使用しているほか、生徒会活動や部活動での活用、家庭学習での使用など幅広く使われていました。

また、タブレット端末の導入により、画面上でクラス全員の意見を共有するなど、これまでではできなかったことが可能となり、深い学びにつながっているとのことでした。



教えてケロっす

Q GIGAスクール構想ってなあに？

A 1人1台の端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に最適化され、資質や能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現させる構想。

GIGAとは、『Global and Innovation Gateway for all (全ての児童・生徒のため世界につながる革新的な扉)』の略。

千布小学校

● 家庭でのWi-Fi環境がなくても、学校でダウンロードして対応している。

● タブレット端末の使用についていけない生徒は特に見受けられない。

なお、委員からの質問に対しては次のような回答でした。



▲モンシロチョウとトノサマバッタの違いは？

授業では、学習支援ソフトを使い先生と生徒が双方向でやり取りしながら進められていました。

総合的な学習の時間でタブレット端末を使い、東京都の四谷小学校と年間を通して交流していることが紹介されました。さくらんぼ畑や児童が植えたひまわりの様子を動画で送り、千布を知ってもらうよう取り組んでいます。

今後の課題として、小中学校とも教諭全員へのタブレット端末の導入、通信ネットワークの脆弱性の解消、今後の情報モラル教育のあり方等が挙げられました。

7月8日の環境福祉常任委員会でワクチン接種対策室から接種状況等について説明を受けました。

● 65歳以上の方の接種状況は、予約済の方を含めると約9割になっている。

● すでに59歳の方にも接種券を発送している。58歳以下の方については予約が取れない状況にならないようにワクチンの供給状況を確認しながら接種券を発送していく。

● 8月のワクチンの供給量は未定であるが、国では輸入を早めるよう交渉することである。



ワクチン接種の最新情報は市HPをご覧ください。

議会報告・意見交換会を開催しました

天童市議会では、市民の皆さまに議会の活動状況を知っていただくとともに、議会や市に対するご意見を伺うため、議会報告・意見交換会を開催しています。

今回は、5月18日から20日まで市内12カ所で開催しました。新型コロナウイルス感染症防止対策のため事前申し込み制となりましたが、134人の方に参加していただきました。

議会へのご意見、ご要望等は、市民の皆さまの貴重な声として対応を協議し、議会における政策立案や政策提言につなげてまいります。

なお、各会場の報告書は、議会報告会での質問についての回答を含め、市立公民館及び市ホームページでご覧いただけます。

A班 天童中部・蔵増・成生

伊藤和子、鈴木照一、松田光也、熊澤光史、佐藤孝一

コロナ禍の中でもたくさんの方に参加をいただいた。当然、ワクチン接種予約についての意見が各会場で噴出したが、子ども、高齢化、災害など広範な意見が出された。議員定数・報酬については、アンケートへの記入に留まった。報告会で出した意見がその後どうなったのか、報告してほしいとの要求は当然。市民参加の方策を検討したい。

(班長 伊藤和子)

B班 天童南部・寺津・高掬

石垣昭一、狩野佳和、遠藤敬知、渡辺博司、佐藤俊弥、古澤義弘

コロナ禍での開催となったが、それぞれの地域課題に活発な意見交換ができたことは、大変意義のあることと考える。開催に当たって、町内会役員さんの声かけにより、参加者が増えたことに感謝している。議員定数・報酬のテーマについては、「限られた時間では話し切れない、別の機会にして」との指摘があった。今後十分に検討する必要があると感じた。

(班長 石垣昭一)



C班 干布・山口・天童北部

水戸 保、村山俊雄、水戸芳美、武田正二、三宅和広

コロナ禍での報告会なので、各会場でワクチン接種についての話題が多く、特に高齢者の申し込みで混乱を招いたので今後64歳以下の申し込みが始まるが、改善した対応をするよう指摘された。聞きたかった議員定数・報酬に関しては建設的な意見がなかったので関心が薄いのかと感じられた。参加の申し込み制、短時間の開催では出席しにくいのではないかと感じた。

(班長 水戸 保)

D班 津山・長岡・荒谷

山口桂子、遠藤喜昭、笹原隆義、野口さつき、五十嵐浩之

コロナ禍の中、十分な感染症対策をして議会報告会を開催した。新型コロナウイルスワクチン接種についての各地域の現状や問題点、意見、要望が多数出された。議員定数・報酬についてはさまざまな意見が出された。また、女性も若者も参画しやすい市民目線の議会改革をしてほしいとの意見や議員の活動の見える化が重要である等、意見を伺うことができ大変参考になった。

(班長 山口 桂子)

参加者へのアンケート 集計結果

○会場ごとの参加者数

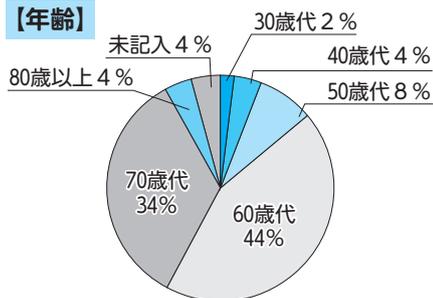
天童南部	天童中部	天童北部	成 生	蔵 増	寺 津	津 山	山 口	高 揃	長 岡	干 布	荒 谷
24	15	7	21	14	5	11	7	9	6	7	8

参加者合計	アンケート回答者数	アンケート回答率
134	124	92.5%

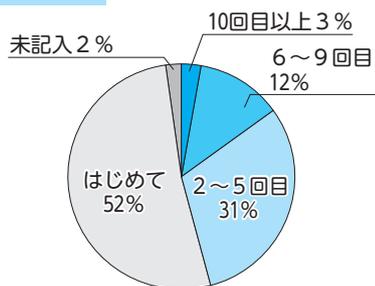


アンケート集計結果

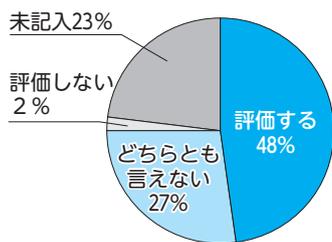
【年齢】



【参加回数】



【評価】



議員定数・議員報酬に関するご意見は次ページです。

○議会・議員に対する意見・要望等(自由記載欄の抜粋)

議会報告・意見交換会の運営等

◆全体がフリーに発言できる雰囲気作り。
◆フリーな内容も良いが、統一テーマも必要ではないか。

◆議会報告の説明が分かりやすく大変助かった。
◆参加者が少なかつたため、一人ひとり自由に発言することができ良かった。

◆議会報告の説明が分かりやすかつたことは残念だが、意見に対して真摯に答えてもらい良かった。
◆出席議員全員の発言が良かったのが残念。

議員・議会への要望等

◆議会改革の進め方を市民が分かるようにお知らせ願いたい。

◆議会だよりを15日発行にしてほしい。
◆議員提出の議案がもう少し多くても良いと思う。

◆議会、各議員の発信力を高めていくのも必要と思う。

市政への意見・要望等

◆除雪に関して、住宅に排雪する場所がないのに固い雪のかたまりの山が置いて行かれる。仕事が終わって疲れて帰っても車

◆除雪のことでもできず、まず除雪。こういった苦情は多いはずなのになぜ改善されないのか。
◆コロナワクチン接種の予約は、年齢順とか地区別

◆天童市の少子化問題。子どもが産まれると家族も地域も笑いがあふれる。で対応すべきと思う。今後混乱しないよう対策検討願う。

意見交換しました！

天童青年会議所

赤塚 弘行さん
高橋 和也さん
渡部 潤一さん
菊地実穂子さん



若い世代はネットから情報を得ている。ネットによる情報発信をして、議員活動の「見える化」を進めてほしい。



公約が実現するまでの働きかけの様子を市民は知らない。働きかけの様子動画をアップしてはどうか。若者はストーリー性を好む。



政務活動費は制約があるため報酬から支出する部分があると聞いている。そうしたことを考えると報酬は少ないと思う。報酬を上げて質の高い活動をしてほしい。



青年会議所の事業としてクロストークの機会を作りたい。

5月の議会報告・意見交換会で出されたご意見

◇議員定数は現在の人口割にしては22名が良いと思う。市民の声をより多く聞くためにも必要。

◇22名の定数は多いと思われる。報酬に見合う活動がなされているとは言い難い。もう少し少数精鋭で活性化を望む。

◇定数を増やし、その分報酬を下げ、新たな財源増が発生しないようにしてはどうか。

◇今後若手議員を増やすためにはやりがいややる気などではなく、自身の生活の見通しを立てられる額の報酬である。現在の額では会社を辞めてまで飛び込める状況ではない。

◇昔の議員は本業があり副業で議員をしてきた。今ではいろいろな要望があるので、議員は専業でなければならない時代になったので大変だと思う。

◇議員定数は適していると思うが、報酬は山形県でも高い金額をもらい過ぎていると思う。

◇若者が政治、議会にもっと関心を持てるような活動を望みたい。

◇なり手が少ないのは報酬が少ないからだという安易な考えはやめた方がいい。

◇今後、多様な人材から市政に興味をもってもらい、議会の活性化につながる定数や報酬を望む。



市内各団体の皆さんとの意見交換会



discussion!

天童市議会では、令和2年12月に議員定数・議員報酬検討特別委員会を設置し、議員定数・報酬の見直しについて協議を進めています。今回は、若い世代の方のご意見を伺うため、6月14日に天童商工会議所青年部、16日に天童青年会議所の皆さんと意見交換会を実施しました。各団体ともに活発な意見交換が行われました。



定数は現状のままでもいいのでは。生活基盤の安定を考えると報酬は上げてもいいのでは。



選挙に立候補する人間が少ないのと定数の問題は切り離して考えるべきだと思う。



もっと議員の情報発信をするべきだ。

議会の運営をするのに必要な人数がいれば十分である。



意見交換しました！



自治会の会長や区長のなり手がいなくなっている。地域の互助のシステムが機能しなくなりつつある。

天童商工会議所 青年部

矢萩 洋美さん
 武田 英司さん
 古澤 裕之さん
 伊藤 智章さん
 山口健太郎さん

市民の声

民生・児童委員として定期的に通学路の交差点に立ち、天童南部小児童の登校を見守っています。地域の

方から、「ムサシとさとうウイメンズの所にも横断歩道があるといいね」という声や「シルバーカーを押して渡るのがとても怖い」との声が聞かれました。確かに、イオンができてから車の交通量が急激に増えたうえに、

安全に渡るために

柳谷 邦子(南小畑)

病院側を巻くようにカーブになっているにもかかわらず、やってくる車の多くはスピードを緩めることなく、交差点を通過していき

ます。歴代町内会長の数年来の取組みもあり、このたび横断指導線が引かれ、横断旗・看板が設置される運び

となりました。これには地元市議のご協力もありました。しかし、白線2本の指導線だけでは運転者も気付きにくく、危険は容易には解消されていません。

6月定例会において指導線の効果に関する質疑を傍聴する機会がありました。それによると横断歩道と指導線は横断者・歩行者の数によって分かれ、

指導線は注意喚起のレベルであり、規則により白線限定のようです。やっと設けられた指導線です。活かす手立てや工夫はないものでしょうか。他県には白線に加えて、例えば青線などを入れることによって目付きやすくしている例があることを知りました。車社会の定着と住民の高齢化が進んでいます。被害者も加害者もつらい、安全な地域であるようお願いばかりです。

天童市議会ギャラリー

6月16日 寺津小学校3年生の議場見学



9月定例会の日程(予定)

インターネットで生中継します。

日	月	火	水	木	金	土
8/22	23	24	25	26	27 本会議 (初日)	28
29	30	31 本会議 (一般質問)	9/1 本会議 (一般質問)	2 常任委員会	3 常任委員会	4
5	6	7 決算特別委員会	8 決算特別委員会	9 決算特別委員会	10 予算特別委員会	11
12	13	14	15 本会議	16	17	18
19	20	21 本会議	22	23	24	25
26	27	28 本会議 (最終日)	29	30	10/1	2

※請願の締め切りは、8月19日(木)正午の予定です。
※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

●高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種が一段落し、若い世代への接種予約が始まった。

●コロナウイルスの変異株は感染力が強いう。これまで以上の感染防止対策が必要だろう。

●5月の議会報告・意見交換会では、市政への市民参画、議員・議会のありようなどいろんな意見をいただけた。

●議会だよりが市政へのかけはしの一端となるよう努めたい。

(伊藤和子)

《広報委員会》

委員長 三宅 和広
副委員長 伊藤 和子
委員 佐藤 俊弥
 佐藤 隆義
 古澤 義弘
 佐藤 孝一